



(四日市)

遺跡の種類 城跡
遺跡の年代 一五世紀～一六世紀
遺跡及び木簡出土遺構の概要
赤堀城は、室町時代の応永年間に築城され、安土桃山時代の天正
三年（一五七五）、また一説によると、天正一二年に廃絶したといわ
れている。

城跡は、市街地の標高約
二・五mの低地に所在し、
都市化のために全くその面
影をとどめていないが、今
回都市計画道路改良工事に
伴いトレーナによる発掘調
査を行った。

その結果、礎石建物跡二

三重・赤堀城跡

あかほり

- 1 所在地 三重県四日市市城東町
- 2 調査期間 一九八四年（昭59）九月～一二月
- 3 発掘機関 四日市市教育委員会
- 4 調査担当者 北野 保

遺跡の種類 城跡

- 5 遺跡の種類 城跡
- 6 遺跡の年代 一五世紀～一六世紀
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

棟や土壤及び溝とともに、土師器・青磁・天目茶碗・陶器などの土器が発見された。そのうちの一点、土師器皿の底部外面には、顔を左側に向けた側面図の状態のねずみの絵と「禰つ三」の文字を描いた墨書が認められた。土製品には、小さな犬形土製品が二点ある。

木製品も多く、「飛車」・「桂馬」の将棋の駒二点をはじめ、漆器椀、箸、すりこぎ、櫛、下駄などがある。
木簡は、これらの遺物に混じって出土したが、下部は欠損してい

る。

8 木簡の积文・内容

(1)

・「▽□□□□

・「▽□□

(90)×27×2 039

(北野 保)